

西日本豪雨災害直後の「ひまわり8号」データによる西日本沿岸域への出水の様子（2018年7月9日撮影）



元画像：宇宙航空研究開発機構（JAXA）ひまわりモニターより取得，処理：等緯度経度格子にリサンプリングされた「ひまわりL1格子化データ」（NetCDF4形式）を使って，日本時9時～13時10分までの10分間隔，25シーンの最小値処理を実施（約1km格子），処理者：作野裕司（広島大学大学院工学研究科，sakuno@hiroshima-u.ac.jp），謝辞：本報告のひまわり8号から作成した西日本豪雨災害に関する研究プロダクトは，宇宙航空研究開発機構（JAXA）の分野横断型プロダクト提供サービス（P-Tree）より提供を受けた。